

< 議事録 >

メンバー所感

- * 概念はわかるが、実際どこから手をつけたらいいか、絞っていく必要がある。
切り口や小テーマについて、KJ法などで、グルーピングする必要があるのでは？
(以前の、集客都市研究会では、その手法で、会の運営方法が理解しやすかった)
- * 「文化立都」大阪を実現する手段として、エコミュゼを取り入れたい
- * 今なぜ、ミュージアム都市なのか、文化なのか？ 明確にすべき。

背景・趣旨(再整理)

大阪の文化を考える 動き。

1970年代? (S40年代) 大阪万博の後 “博物館都市” 構想
数々の提案例「中之島西部に近松座・西鶴座、国際会議場、博物館等々をつくれ …」
(当時、小松左京・梅棹忠夫・上田篤・上田正昭・山崎正和 <敬称略> による提言)

2000年代 ほぼ施設は完成。それでも「文化によるまちづくり」と言わざるをえない。
<大阪学の1つの動き>

小さなユニークな(特徴的な)拠点づくり ex、旭区の芸術創造館
応典院、倉庫・小学校の転用、扇町
既存のもの、いかに発見していかに使いこなすか ex、哲学カフェ
市民参加・プロセス指向
ネットワーク 都市協会的 大阪学 と 市立博物館的 大阪学
その他、巨大なイベントもできれば、10年先を見越して

我々がたたき台をつくる

文化とまちづくり 読みかえ作業 これまでと違う大阪をみせる (第1フェーズ)
次の段階はどうするか? シンポ? 新構想
(第2フェーズ)

各論 独断と偏見で大阪文化を切っていく(博物館へ行かなくても、文化は有る)

- * 水網都市ミュージアム
- * 食の大阪文化博
- * 大阪DE哲学
- * 芸術の都 大阪
- * 空地进行を生かす、建替えプロジェクト
- * ストリート都市大阪
- * 光る 大阪

大阪文化 これまでのステレオタイプ たこ焼き、阪神、吉本 ど根性
上方文化 大阪文化(s30年代~) ポスト大阪文化(質が変る? 広域になる?)

大阪の文化の総合力を見せる。(多彩さ、意外性)

東京は、特徴のある場・エリアがいくつもある。各分野でTOP。頑張ろうという人々が集まる。

大阪は、もっとエリアをしっかりと特徴づける必要。

南船場や堀江を「大阪の代官山」と言わせない。

第2都市としてのレッテルを貼られてしまうパターンで、あきらめない

文化の語り方。

は、 だ。 という断定的言い方は、

小さなまちのみ。(倉敷は、大原美術館だ。)

大都市の場合、 1つでは語りきれない。(ロンドンは、パブだ。)? ??

大阪は吉本だ! でいいのか。

も、大阪だ。 も大阪だ。

アレもコレも大阪マップ(仮題) 第1フェーズとして(H14/3まで)で作成。

大阪の特徴を、キーワードorエリア毎に(既存の思い込みをくつがえす切り口も)宣言し、
コンセプトを強調した(実際、現場に行けなくてもよい)マップ・案内冊子
次回アイデア出し、具体的動きへ。